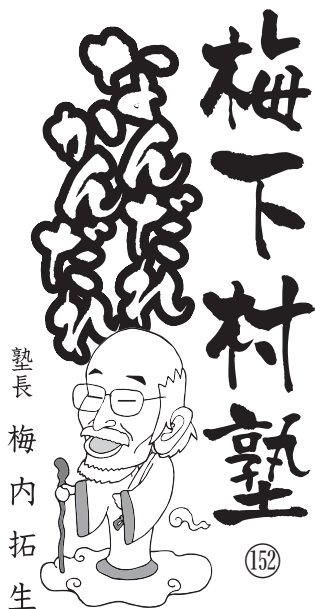


# 「森と水と命の惑星」国際会議

## ～地域と世界の心と魂を詠む～



(自立と自律へのこ  
とかけ)

日本は高齢化社会へ  
向かって速度を速めて  
いる。老人病院の入院  
者はいろいろな事情を  
抱えている。私が関係  
している老人病院で

は、老人の捨て場にな  
らないように、医師、  
看護師、介護師、理学  
療法士、社会福祉士、  
栄養士、薬剤師、事務  
担当者が毎週1回集ま  
って、患者検討会を行  
っている。

担当者は患者の生命  
の危険回避への検討は  
もとより、ことかけを  
して、患者の自立と自  
律へどうつなげるかを  
真剣に話し合っている。  
家族へのことかけ

塾長 梅内 拓生

は難しい患者のケアは  
殊に大切である。この  
自立と自律へのことか  
けを詠んで地域新聞に  
掲載しており、これに  
地域が関心を示し始め  
ていることは心強い。

(幻影と心)

東海文芸 詩 後ろ  
姿の母 金野 孝子  
(あかね詩の会)  
4月3日 第5面

春の夕暮れどき  
街の中を母が歩いてい  
た

遙か遠くへ行って久し  
いのに

わたしに背を向けひと  
りで歩いて  
いつもの着物に  
いつもの白い割烹着を

当て

髪をうしろにまとめ  
確かに母だ  
何処まで行くのだろう

呼んでみたい  
追いつきたい  
そう思ったけれど

母が振り向いたら  
本当の母でないことが  
分かるから

後ろ姿の母が壊れそう  
で  
立ち止まったまま見詰  
めていた

後ろ姿の母はゆっくり  
と

白い大きな家に入って  
行った

よかったアわたしの母  
のまま

母の面影は美しく懐  
かしい、しかし現実の

世界は厳しいですね。  
独居生活の老人、施設  
入居の老人、いろいろ

な生活が展開されてお  
ります。美しく、懐か  
しい母の幻影も心次第  
ですね。

返句

街角に 母の面影

春の暮

(拓生)

遅き日のつもりで遠き  
昔かな

(蕪村)

(とわすがたり)

のり 新聞やテレビ  
に老人の孤独死が報道  
されているなあ!

おさむ 今は、この  
あたりでも老人は施設  
に入る人がおおくなっ  
ているね!

あつし お葬式も家  
族だけでやるのがふえ  
ているね!

のり 北欧などでは  
施設に入るのが普通ら  
しいね。

おさむ 宗教との関  
係かね!

あつし 社会全体の  
価値観が変わってきて  
いると思うな!

のり 自立と自律と  
心遣いの文化をどう育  
てるかが大きな課題だ  
と思うよ!